



ご自由にお持ちください

日本赤十字社

秋田赤十字病院 広報紙

あいのまど

2015.8  
Vol.21

## かかりつけ医と協力 患者さんをサポート 「地域医療支援病院」のおはなし



当院は、秋田市内唯一の地域医療支援病院として、地域の医療機関と連携しあい、患者のみなさまへ質の高い適切な医療を提供できるよう努力しております。

今号では、地域医療支援病院について、少し具体的にみていきましょう。



◀ あいのまど第19号で特集した「患者支援センター」。センターに入って左奥が地域医療連携課です。

### 「地域医療支援病院」とは？

地域医療支援病院とは、患者さんにとって身近な地域で安心して医療を受けていただけるように、地域のかかりつけ医の先生方と役割を分担のうえ、協力しあって患者さんを診ていく病院です。

認定されるための主な要件は、当院にいらっしゃる過半数の患者さんがかかりつけ医からの紹介状を持参されていることや、24時間体制の救急病院であることなどです。

ちなみに、秋田県内の地域医療支援病院は、当院と能代山本医師会病院(能代市)の2医療機関だけです。

### かかりつけ医と当院をつなぐ担当について

1階患者支援センター内にある地域医療連携課が、かかりつけ医から紹介された患者さんの受診受付・対応をしています。(患者支援センターについては、あいのまど第19号をご覧ください。)

また、当院を受診した患者さんで、病状が落ち着いた方には、相応しい地域のかかりつけ医を紹介しています。どうぞお気軽にご利用下さい。

その他には、セカンドオピニオン外来の受付なども行っています。

病院入口の看板にも「地域医療支援病院」と書いてあります。



### セカンドオピニオン外来とは？

当院以外の医療機関を受診されている患者さんを対象に、当院の専門医が現在の診断・治療に対する意見を提供するものです。現在治療を受けている医師に相談のうえ、事前にご予約していただく必要があります。

料金は約30分で10,800円です。

### かかりつけ医からの紹介により当院を受診する場合の利点は？

- ① 当院とかかりつけ医が協力しあい、病状に応じた医療を提供いたしますので、安心して医療を受けることができます。
- ② 医療連携により検査や薬の重複を避けることができます。例えば、かかりつけ医のもとで行った検査内容は、紹介状と一緒に当院に提供されることで、当院で改めて同じ検査をする必要がなくなります。
- ③ かかりつけ医から事前にご予約をいただくことにより、待ち時間が短くなります。
- ④ 初診時に、紹介状をご持参いただくことにより、選定療養費2,160円(※)のご負担が無くなります。

※200床以上の病院を紹介状無しで受診される初診の患者さんにかかる特別な負担金です。

「あいのまど」とは……当院の病棟では個室も4床室も患者さん一人にひとつ窓があります。

その安らぎの療養環境からイメージを得て病院歌「愛の窓」が作られ、そこから着想したものです。



知っておきたい  
くすりの知識  
薬剤師 渡邊 貴子

湿布には消炎鎮痛の効果があり、皮膚から吸収されることにより炎症や痛みがやわらいでいきます。しかし、湿布には冷湿布と温湿布の2種類があり、どちらを使用すればよいのか戸惑った経験はないでしょうか。

冷湿布と温湿布の違いは？

冷湿布には、清涼感のあるメントール、カンフル、ハッカ油などの成分が含まれています。一般的に急性の痛み(ぎっくり腰、ねんざ、打撲、筋肉痛など)に使用します。貼る前に患部を冷やしたり、湿布の上から冷やすとより効果的とされています。

一方、温湿布は唐辛子成分(カプサイシン)を含むため温かく感じるのに加え、血管を拡げて血流を改善するのが特徴です。血流の悪化が要因の一つとされる慢性的



な痛み(肩こり・腰痛、生理時の腰痛等)に使用すると良いとされています。

湿布の使用時に注意することは？

カプサイシンが含まれている温湿布の場合、はがしてからすぐにお風呂に入ると、肌がピリピリして痛みを感じてしまうことがあります。温湿布をはがした後、しばらくしてからお風呂に入ることをお勧めします。

また、日光に当たると皮膚がかぶれてしまう、妊娠している方は使用できない、喘息の方や胃潰瘍の既往のある方は使用できない湿布もあります。医師、薬剤師と相談しながら、正しく安全に使用しましょう。



おたより  
tayori

はじめまして、消化器外科の升田晃生と申します。生まれは秋田県で、生後すぐに北海道礼文島に移住し、大学は旭川医科大学医学部の卒業です。卒業後は道内の病院を巡り外科医としての研鑽を積んで参りました。この度、当院で働く機会を頂き消化器外科医として腹部一般外科、癌治療や急性腹症などの緊急手術に携わっております。

離島での医療を目指して

私の父は礼文島の診療所(中島みゆき『銀の龍の背に乗って』のプロモーションビデオのロケ地)で30年間医師をしております。私も将来的に離島医療に従事したいという思いがあり、地域に根ざした医療、離島という環境下でも緊急時に対応できる力を身につけるべく、外科をベースとした幅広い知識と技術の向上に日々努めております。

秋田県の医療の発展に貢献し、患者様ひとりひとりと真摯に向き合い歩幅に合わせたきめ細かい医療をお届けしたいと心がけております。



礼文島にて。  
下は礼文島のみで生息するラン「レブンアツモリソウ」



From  
消化器外科医師  
升田晃生  
Akio Masuda

Profile  
出身地  
北海道礼文島

趣味  
バレーボール、温泉